

令和3年度 第1回 碧南市図書館協議会 会議録

1 日時

令和3年7月14日（水）午前10時～午前11時30分

2 場所

碧南市芸術文化ホール 2階 楽屋6、7

3 出席者

(1) 出席委員

宮本美枝子、浅井久夫、角谷竹虎、加藤智子、江渡竜一、杉浦正勝、
杉浦卓郎、角谷千佳子、神谷俊幸

(2) 欠席委員 山内えりか

(3) 事務局職員

教育長：生田弘幸、教育部長：岡崎康浩、生涯学習課長：鈴木勝哉、
市民図書館館長：関由香、南部分館長：大橋幹広、
中部分館長：長谷川有里、市民図書館副館長：長田和子

4 傍聴者

0名

5 協議会内容

(1) 教育長あいさつ

(2) 会長あいさつ

(3) 自己紹介

(4) 議題

① 令和2年度図書館の事業実績について

② 令和3年度図書館の事業計画及び関係予算について

(5) その他

事務局

議題 1 令和 2 年度の実績報告についてご説明します。

令和 2 年度につきましても元年度より引き続き、新型コロナウイルスの影響による休館や、サービスの制限等がございました。まずはそちらについて簡単にご説明いたします。

お手元に配布しております。別紙「令和 2 年度 新型コロナウイルス感染症への対応」をご覧ください。

令和元年度末から引き続き、4 月 10 日までは、事前に予約していただいた資料の貸出と、返却受付のみとして制限付きの開館となりました。4 月 11 日から 5 月 31 日は、全館休館としましたが、本館のみ先行して、5 月 26 日から予約資料の貸出のみを行っております。翌月 6 月 2 日からは全館開館し、書架への立ち入りを可能としましたが、館内の滞在時間を 30 分程度とし、閲覧席の間引きなどを行いました。また、紙についたウイルスは 24 時間程度で不活性化する、ということから、返却された資料や、館内で利用された資料を、1 日バックヤードに隔離してから棚へ戻すということを始めました。

7 月からは館内の滞在時間を徐々に引き上げ、21 日には 3 時間程度へ変更しております。このように、休館や利用の規制があったため、令和 2 年度の事業の実績に、大きな影響があったことを、あらかじめご承知おきいただきたいと思います。

それでは、実際の数値を交えての実績報告をさせていただきます。冊子資料「碧南市の図書館 2021」の 6 ページをご覧ください。こちらは「令和 2 年度業務実績の概要」となっております。

まず「(1) 図書館資料の収集」として「ア 図書」「イ 視聴覚資料」をまとめてご報告いたします。16 ページをお開きください。

こちらは、図書館全館の蔵書冊数の表でございます。右下の数字をご覧ください。令和２年度末の所蔵点数は「図書」と「視聴覚資料」を合わせ、全体で５６１，０５２点となりました。新しく購入した資料は、９，９３４点です。全体で１，０２６冊、前年度対比０．２％の増加となりました。昨年度に購入した資料の特色としては、小学校でプログラミングの授業が始まったことから、コンピュータに関する団体用図書として６８冊を購入しております。これらは学校からの調べ学習の貸出依頼に対応できる資料になっております。６ページにお戻りください。

「ウ 逐次刊行物」ですが、令和２年度は新聞１１紙、雑誌２１８タイトルを受入れました。なお２２ページからは受け入れ雑誌の一覧が掲載されておりますが、こちらは令和２年度ではなく、今年度受入している雑誌タイトルとなりますのでご注意ください。

次に「(２) 図書館の利用に関する状況」についてご説明いたします。まず「ア 登録者数」につきましては、４６，５７３人となりました。登録者のうち、碧南市民は３１，９２８人で、人口（７２，７６５人）の４３．９％の方が、図書館の利用者カードを持っていることになりました。

続きまして、入館者についてですが、先程ご説明したとおり、コロナウィルスの影響のため、４月上旬から５月は、完全休館しております。また、利用制限や行催事の中止もあり、全体の入館者は１６８，２７６人にとどまり、前年度対比で３１．９％の減と、大幅に減少しております。

次の「イ 利用状況」ですが、貸出利用者数は、延べ９８，２９６人で前年度対比１０．９％の減少です。資料の貸出点数は３９６，９１４点で、前年度対比２２．３％の減少となりました。全体的に利用についての数値は下がっております。

また、毎年小学校の全クラスに学期ごとに、団体貸出を行

っていますが、昨年度は学校の休校や、夏休み期間の短縮等があったため、年3回貸出するところを年2回に変更しております。しかし、令和元年度に引き続き、利用が増加しているものが予約・リクエストの数値です。30ページをお開きください。こちらは予約・リクエストの件数表ですが、昨年度の合計は42,289件で、前年度対比9.7%の増加となりました。予約件数の増加は、休館や利用制限などがあったため、通常は10冊までであった図書の予約を、50冊までに引き上げたことや、電話での予約受付を可能としたことが要因といえます。また、令和元年度に引き続き、インターネットからの予約の増加が大きく、前年度対比23.5%と大幅な増加となりました。実際、ホームページへのアクセス数は、令和元年度の7,501件から、8,452件と951件の増加がみられました。これは平成30年度から令和元年度の増加数441件のほぼ倍となっております。次に令和2年度の行事について簡単にご説明いたします。33ページをお開きください。「12 図書館事業実績」のページ、こちらは各館ごとの行事の一覧になります。図書館の事業は、おはなし会や各種講座などを通じて、市民をおはなしの世界や、読書活動へとつなげることを目的としておりますが、昨年度は、おはなし会や、ボランティア養成講座を始めとした、従来行ってきた多くの行事が中止となりました。そんな中でも、館内の滞在時間の短縮や、人や物品との接触の機会を減らすことに留意しながら、いくつかの行事を開催しております。夏休みには、学年別におすすめの本を3冊セットにして、短時間でさっと借りていけるような「夏休みおすすめ本セット」を用意し、貸出いたしました。また、おはなし会がすべて中止となってしまったため、自宅でおはなし会を楽しんでいただこうと、絵本・紙芝居・紙芝居の枠・簡単な工作の素材をまとめた「おうちでおはなし会セット」を作り、貸出いたし

ました。こちらは現在も継続しており、よく利用されております。そのほか、本館では例年好評をいただいている「としょかん福袋」や「雑誌付録の抽選会」などは、従来の手法を一部変更し、こちらも接触機会の軽減や、利用者が密にならないような配慮を行いながら開催いたしました。以上で令和2年度の実績報告を終わります。

会 長

何かご質問がありましたら出していただき、後でお答えいただけますと思います。次の説明に移ります。

事 務 局

令和3年度図書館の予算について説明します。資料「碧南市の図書館2021」の14ページ、5予算(2)「図書館費の構成」から昨年度と比較して増減の多いものについて説明させていただきます。

まず、7節の報償費が対前年度比84.1%で16%の減となっています。昨年度は「七宝とのカフェコラボ」で3万円増となっていましたが、今年度はボランティア養成講座の予算から30,000円をそちらに充てる予定のため減となっています。

次に10節、需用費のうち事業用消耗品費が対前年度比12.6%、約13%の増となっています。これはコロナ対策で、主に資料を拭くための除菌用アルコール製剤の購入による増です。

同じく10節の修繕料が対前年度比51.4%で約49%の減となっていますが、昨年度は地下の電動書庫の修繕を行うために要した費用があり、修繕が完了したことにより今年度は減となっています。

続いて17節備品購入費になりますが、資料購入費の他にその他の項目がありますが、これは2022年に電波法が改正されることにより、使用できなくなるワイヤレスマイクロ

フォンとアンプの購入費用でございます。資料購入費につきましては、消耗品費で挙げております新聞・雑誌・追録等、備品費で挙げております図書・視聴覚資料等ともに昨年度並みの予算となっております。以上で今年度の予算についての説明を終わります。

会 長

何かご質問はありますか。無いようでしたら、私の方から、「13 使用料及び賃借料」について、あとで結構ですので、もう少し中身をお知らせください。次に移ります。

事 務 局

令和3年度市民図書館事業計画につきまして、資料の3ページから7ページを対象に各館の主な事業等について説明いたします。

まず、全体として、今年度もコロナウィルス感染拡大防止のため、参加者の人数制限や消毒、換気等の対策を徹底した上で各事業を実施していく予定であり、感染の状況によっては計画の変更等もありますのでご了解をお願いしたいと思います。

それではまず一つ目として、今年度は「図書館サービス計画（第二次）」における、中間アンケートの実施をいたします。これは、図書館サービスの現状を把握するために行うアンケートであります。来館者向けとして8月下旬の平日と休日の2日間、本館、分館で行います。また図書館を利用していないかたの意見も把握するため、市政アンケートにいくつか設問を設けた形でも実施いたします。現在の「図書館サービス計画（第二次）」作成にも同様のアンケートを実施し計画作成の参考にしています。前回から5年経過したなかで、どのような図書館サービスに対する評価があるのかの調査を行い、今後の課題として分析していく予定であります。

続いて各館の年間行事であります。昨年度コロナ禍で中止

した事業を今年度は少しでも実施できるよう計画を行いました。

本館では、おはなし会等各種定例行事に加え、5月に実施した「おはなしボランティア養成講座」、9月から予定の「音声訳ボランティア養成講座」などの各種講座、夏休みの「調べ学習講座」や「工作教室」などの子どもを対象にした季節にあった行事、また、図書館友の会のみなさまによる「音楽と朗読の夕べ」は11月ごろに、「リサイクル本バザー」を2月ごろに計画しています。今年度は予定どおり実施し、大勢は無理かもしれませんが、少しでも多くの方に楽しんでいただければと考えています。南部・中部の各分館も定例行事を中心に、夏休み行事、へきにゃごまつり（秋の読書月間）の行事を実施していきます。

最後に、これは全館共通の事業になりますが、これも昨年中止となった3月に予定している「子ども一日司書」、随時実施を予定している「保護者向け読み聞かせ講座」、あと「中学生の職場体験」今年度はぜひ実施して、図書館の楽しさ、読書の楽しさを体験していただいたり、PRしていきたいと考えています。

会 長

質問はありますか。では、先ほどの「13 使用料及び賃借料」の「コンピュータの使用料」についてお願いします。

事 務 局

コンピュータの使用料につきましては、主に機械のリース料、法律や中日新聞のデータベースの使用料です。

会 長

ありがとうございました。コロナの関係で、今後、貸借や申し込みなど、コンピュータを使うことが増えるかと思っています。

事 務 局

今、会長さんから、電子関係のデジタル化についてお話がありましたので、別紙「碧南市民図書館への電子図書・館内 Wi-Fi の導入について」の用紙でご説明します。

今、電子図書館システムと館内 Wi-Fi の導入を進めておりまして、これは、緊急事態宣言が発令され、全国的に図書館が臨時休館になった際に、利用者から、来館しなくても利用できる「電子図書館サービスの導入」を求める声が、かなり広がりました。コロナ対策としても、接触なく図書館が利用できるということで、愛知県内でも、令和 3 年 1 月に愛知県図書館が導入しまして、近隣でも 2 月に西尾市、3 月に半田市が導入が決まり、利用が始まっている状態です。碧南市におきましても、導入を検討いたしまして、館内 Wi-Fi も含めて導入が決定しまして、今のところ、10 月か 11 月ごろ電子図書の貸し出しを行う予定です。

電子図書につきまして、一番のメリットは、24 時間利用が可能になること、時間に左右されることなく、図書館に来なくても資料が利用できることがあります。また、コンテンツによっては、多言語対応や書き込み機能があるので、外国人や体の不自由な方にも使いやすいものになっています。それから、図書館側からしましても、2 週間を過ぎると、利用者が返却処理しなくても自動的に返却されるので、督促業務の軽減になります。それから、現在学校でもギガ構想ということで、タブレットが一人一台ということがありますが、将来的には、学校とうまく連携できないかなと考えています。また、若い世代の人たちには、スマホが当たり前になっていますので、スマホを使って読書推進ができることがあります。

(3) の館内 Wi-Fi の導入の件ですが、今の学習席は、コロナ禍で、3 時間の時間制限を設けていますが、利用者の多

くは学生です。申込制にしているので利用者の数もカウントできています。

8月から2月で、毎日来ている方もいますが、2,000人程度、若い世代が利用しています。そういう方たちに、館内Wi-Fiを取り入れることで、図書館は使いやすいな、もっと来たいなと思ってもらえる。図書館の使いやすさをPRできると考えています。

また、電子書籍につきまして、愛知県図書館が舵をきっているわけですが、愛知県図書館は、調査研究の電子書籍を多く導入しています。碧南市の図書館にない資料も愛知県図書館の電子図書に入っていることもあるので、碧南市の図書館の資料プラス愛知県図書館の資料も同時に館内で使って、調査研究できるということもあります。

会 長

ありがとうございます。

委 員 A

電子図書館サービスというのは、具体的にどういうことですか。

事 務 局

利用者カードの番号とパスワードを使ってホームページからログインしていただくと、電子図書館のページが出てきます。そこに、本の表紙や中身の説明もあります。そこで、借りるという選択をすると、テキストや写真、鳥の鳴き声、動画なども自宅で楽しむことができます。

委 員 A

スマホやパソコンでできるということですか。

事 務 局

はい。できます。

委 員 A

アマゾンのキンドルと同じようなものですか。

事務局

キンドルと似ていますが、人気作品は、出版社が図書館が貸してしまうと、売り上げに損失が出てしまうので、例えば、宮部みゆきや東野圭吾などの人気作家のものは、図書館向けの電子図書としては提供されていません。あと、購入しても、2年間もしくは52回の貸出という条件付きのものもあるので、紙の本だと20年30年と所蔵することが多いが、そういう点でも違います。

今のところ、碧南市に在住、在勤、在学の方に貸出をするということで進めています。

会長

それでは、碧南市が一定の条件を契約して買うということですか。

事務局

そうです。

会長

わかりました。

説明を聞いて、ご意見やご質問はありますか。

委員 B

夏休みの3冊セットのおすすめ本を薦めていただきありがとうございます。令和2年度の実績で、どのくらい利用があったか教えてください。

事務局

数につきましては、資料33ページからの事業実績に館別で載せています。本館で165セット、南部34セット、中部93セットです。館ごとにばらつきはありますが、本館の場合、見ていると好評で、密にならないよう、学年別でテーブルを分けて置くようにしました。例年、夏休み前に「夏休みに図書館がすすめる本」というチラシを学校で配布し、特集コーナーと出していますが、なかなか選べない子もいます。さらに、館内の滞在時間を短くしていることと、たまった本

を消毒しバックヤードに置くこともあって、すぐに本がなくなってしまうこともあります。迷っているお子さんもいるので、そんな子がさっと選べるように、セットで置くようにしました。低学年、中学年が好評で、高学年も置きましたが、本館では、中学年が一番だったように見えました。

委 員 B

ありがとうございました。

会 長

他にご意見ありますか。

委 員 C

私が、いいなと思うことは、聞いていると、子どもの行事がたくさんあることです。子どもというのは、子どもの頃から図書館に出入りすることで、大人になってもそれが印象に残り、自分の子どもにも伝わっていくという連鎖があると思います。そういう時に、子どもが図書館に来て、楽しい印象が持てる行事に参加する。それと、貸出の時に窓口でいい声かけをしてもらおうと、すごく印象に残って、「図書館っていいところだな」と思ってもらえると思うんです。そういった意味で、子どもさんにはいい声かけをお願いしたい。それと、お母さん方には、「こういう子どもさんには、今こういう本が人気がありますよ」といったお話をしあげると、迷ってみえたお母さんに参考になったり、「図書館の方はいいこと言われるな」といった印象が繋がって、いい連鎖が生まれていくのではないかと思います。これからも今やってみえることを進めてもらいたいし、ますます優しい、楽しい声かけをお願いしたいと思います。

会 長

ありがとうございました。私も以前、何か尋ねると、とてもてきぱきと動いてくださる図書館職員の方がみえて、そう

いった心安らぐ経験が、図書館が大好きになったきっかけだったのかなと思います。

他にいかがですか。D 委員どうですか。

委 員 D

おはなしボランティア講座を、昨年はなかったが、今年は実施してもらえた。毎年、講座を受けた方が、1 人くらい私たちの会に入ってもらえる。辞められる方もあるので、自然増で本当にありがたい。これからも続けていただきたいと思います。

会 長

ありがとうございました。E 委員、初めてだと思いますが、質問でも感想でもお願いします。

委 員 E

私、自己紹介でも申し上げましたが、申し訳ないですが、この図書館におじゃましたことがないんです。図書館を利用したことを思い出すと、学生時代に、家で勉強していても手がかからないときに、図書館に行けば、友達に会えたり、勉強できるかなといった感じでした。

そこで、今図書館というのは、朝から夕方まで、どんな雰囲気なんでしょうか？今は、コロナ禍でイレギュラーだと思うので、2、3年前の通常時は、どんな雰囲気だったのか教えてください。

事 務 局

まず、男女比で言いますと、昔は、女性の方の利用が多かったが、今は日中も男性の利用が多いです。新聞や雑誌を時間をかけてじっくり読まれています。学生さんに関しては、やはり、土日に席を取られる方が多く、コロナ前は、席に荷物を置いてよそへ行ってしまったり、仲間と盛り上がってしまうようなこともあったが、今は、コロナの感染症対策ということで、集中してじっくり勉強されています。子どもの関

係は、午前中は未就園児がお母さんと一緒に来ることが多く、園からも散歩がてら寄られることもあります。午前中は、ごく小さい子と親子連れといった感じです。3 時くらいになると、保育園児たちがお母さんと一緒に寄ってくれる。以前は小学生も 4 時過ぎになると大勢来てくれていたが、土日は来てくれるが、平日は家の近い子以外は少ない雰囲気です。

委 員 E

ありがとうございました。私は、昭和 51 年生まれで、第 2 のベビーブームと言われた時代です。私の世代の観点で言うと、アナログからデジタルに替わるはざまの世代です。私の子どもは小中学生で、タブレットが支給され始めています。妻の親と同居で、子どもの未就学時には、本館や東部プラザをよく利用していました。

これから、高齢化社会の中で、図書館の電子図書とか、図書館に行かなくても借りられる時代が進んでいく。ましてや、Wi-Fi の話もあったが、4 G から 5 G にかわってくると、Wi-Fi すらいらなくなる時代がおそらく来るだろう。そんな中で、図書館が、現物の図書を利用する役割から、高齢化や少子化の中で時代とともに変わってくるのかと資料を見ながら思いました。

あと、難しい側面があると思いますが、碧南に限らず本屋が少なくなった。私もよく雑誌の立ち読みなどして帰っていたが今はそれもできない。電子図書への流れは否めないと思う。図書館自体も、利用される対象の方々や時間帯など、臨機応変に対応してもらえらることご検討いただけたら、これからの若い世代の方や子どもを産んで子育てされる方々も利用しやすくなるのではないのかなと思う。

もう一つ、予算を見ると、図書の購入費の次にコンピュータ等の機器や保守点検等の費用が計上されている。ここに、電子図書の購入が始まると、本来、図書館として一番である「本を

買う」ということ以上に、こういった面での費用が加算されてくることが予測される。私も会社経営をしていて、毎年同じ業者に保守点検させたり、リース料を支払っているところがある。しかし、よく見て、考えてみると、もっと安くできたり、利用が広がるところもある。リースをやめて買い上げる。必要に応じて保守点検する方が有効なこともある。行政では、難しい部分もあると思うが、比率的に図書を買うと同じくらい、そういった面での費用が必要時代になってくる。今日の予算を見てもそう思った。タブレット等のハード面も非常に安くなっているので、そういった面でも考えていってほしい。

会 長

ありがとうございました。小中学生に全員タブレットが支給されている今、予算的な面でも大変だと思う。

ガラケーからスマホに変わった時、便利だけど、授業を受けないと大変だった。図書館が情報機器の面で広がっていくと考えると、大変難しいことだと思う。そこで、講師を招いてスマホ講座のようなことを行い、お年寄りを上手に利用できると思う。

それでも、本、紙のデータはなくならないと思うので、どう動いていくかが大切に思う。

今、学校現場の様子をF委員いかがですか？

委 員 F

市内12校、どの学校も朝読書は行っている。今年、赴任した学校で、図書の貸出状況について司書に聞いてみた。

去年は、コロナの影響で、4月、5月と休校だったり、借りた本は消毒して一日は別の場所で置くといった方法をとった。そんなこともあってか、去年の貸出数は、年間60冊と聞き驚いた。そこで、今年、もう少し貸出できないかと考え、自分自身も積極的に借りて、職員会で何冊だったかを伝

えた。4月は20何冊だったが、5月は40何冊、6月は70何冊と増えた。「先生方のおかげです」とお礼を言い。士気を高めている。

子どもたちは、元来本は嫌いではない。環境さえ整えてやれば、興味を持つようになる。司書さんにも、人気のある本や、他校の情報なども紹介したりした。確実に貸出数は増えている。

子どもたちは、小学生の時は、たくさん読んでいるが、中学に入り学年が上がるにつれて、貸出の数は確実に減っていく。これは、受験の準備などいろいろな理由は考えられるが、人気のある本などは子どもたち同士で情報交換をして、先を争って借りている状況もある。何とか昨年の60冊からこんなに増えたねと言えるよう、職員ともども喜べるよう作戦を立ててやっている。

一つお詫びですが、今年度の職場体験は昨年度に引き続きコロナの関係で、行わないことを校長会で決定した。来年度以降落ち着きましたら、受け入れていただきたい。よろしくお願いします。

会 長

ありがとうございました。他に、ご質問等ありますか。
それでは、その他に移ります。

Wi-Fiについて、事務局お願いします。

事 務 局

それでは、補足をお願いします。Wi-Fiを本館の机のある席のエリアを中心に導入を進めています。1階は外側の机のあるエリア、2階は子どものフロアだが、ほぼ全域使えるようになると思います。

会 長

ありがとうございました。それでは、友の会の方でG委員をお願いします。

委 員 G

それでは、友の会のPRということで、お手元に「航海日誌」という機関紙があると思います。図書館友の会では、年間4回から5回こういった機関紙を発行し、会員の交流の場を広げたり、市民向けに発行しています。また、昨年発足30年になったので記念誌を作りました。教育長さんからのメッセージ、歴代の会長・副会長、図書館長、世話人の名前や30年の歩み、読書サークル、ボランティアサークルなどの紹介等が掲載されています。航海日誌の5月号にも紹介しましたが、中日新聞折り込み「たんぽぽニュース」にも取り上げられ、同級生や後輩から励ましや問い合わせもありました。そういった人たちをはじめ多くの人たちに、購入もしてもらえ、当初の予想を上回る72冊（1冊500円）売ることができました。

最後に、航海日誌は、今まで本館に30部、各分館に20部ずつ置いてもらっていたが、今後は課長さんにもお願いして、7つの各公民館にも置いてもらいたい。また文化会館にも置いてもらい、市民のみなさんに少しでも知ってもらえるようにPRしていきたいと思います。

公民館の図書室は、学生さんの勉強部屋になっているところもあるので、そういった場所に置くことでPRをしていきたい。

以上、友の会のPRとお願いです。

ありがとうございました。

生涯学習課
長

今のG委員からの要望ではありますが、7つの公民館にも配布していきたいと思います。

事 務 局

それでは、次回のお知らせをさせていただきます。次回の令和３年度第２回図書館協議会にしましては、３月上旬を予定しております。内容につきましては、碧南市の図書館サービス計画第２次の進捗状況の説明を中心に行いますので、皆さんご多忙とは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

生涯学習課
長

それでは、これをもちまして、令和３年度第１回図書館協議会の方を終了いたします。長時間にわたり、皆様方、特に会長さんありがとうございました。

閉会